

景子の神奈川行脚

【7月】

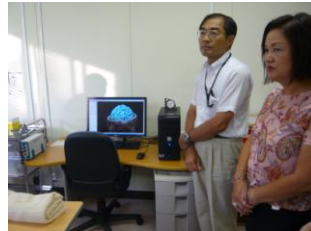
- 1日 おひさま保育、発達障がい講演会、エジプト講演会、担当課質問ヒアリング
- 2日 厚生常任委員会
- 3日 勝又駅頭応援、I女性会議の人とお産についてヒアリング、社会をよくする運動
- 4日 海開き、食の安全条例ヒアリング
- 5日 勝又事務所開き、環境フェア、太陽光発電点灯式
- 6日 「神奈川のお産を考える会」とわ助産院、こども医療センター視察
- 7日 厚生常任委員会
- 8日 議員インターンシップ面談、スタッフミーティング
- 9日 茅ヶ崎駅南口朝立ち、議会運営委員会、不安定雇用ネット県へ要望
- 10日 議会運営委員会、本会議、二宮町民との意見交換会
- 11日 社民党自治体議員団会議、あべともこ映画会「チエ・ゲバラ」
- 13日 おひさま保育
- 14日 市肢体不自由児者父母の会県へ要望提出、市総合計画審議会
- 15日 茅ヶ崎駅朝立ち、保育室ほか見学、市企画部ヒアリング
- 16日 県犯罪被害者センター見学、かながわ市民派議員会議研修会
- 17日 かながわ市民派議員会議研修会、市民相談、あべともこ決起集会
- 19日 レンダースライブ、中海岸おはよし見学
- 20日 浜降祭、勝又決起集会
- 21日 おひさま保育
- 22日 茅ヶ崎駅朝立ち、県政ニュース印刷
- 23日 茅ヶ崎駅朝立ち、サザンビーチ津波訓練
- 24日 県政ニュース発送作業、勝又応援駅立ち、勝又選対会議
- 25日 自治基本条例説明会、ウィークリー知事訪問同行
- 26日 小出コミセンまつり、ほのぼのビーチまつり、野口宇宙飛行士壮行会、鶴が台まつり
- 27日 茅ヶ崎駅朝立ち、勝又事務所開き、山田副園長打ち合わせ
- 28～30日 全国地方議員交流研修会(沖縄)
- 31日 おひさま保育、県障がい者作業所ヒアリング、勝又選対会議



防災訓練



全国地方議員大会 沖縄県議と



県立芹香病院



県道開通式(鶴が台)

【8月】

- 1日 松林市民集会、革親懇談会、街宣活動、NO WAR展、市民相談
- 3日 茅ヶ崎駅朝立ち、市政懇談会、慶應大学生と懇談、市民相談
- 4日 おひさま保育、市内ニュース配布
- 5日 茅ヶ崎駅朝立ち、市内ニュース配布、衆議院選公開討論会
- 6日 茅ヶ崎駅朝立ち、厚生常任委員会県内調査、勝又選対会議
- 7日 茅ヶ崎駅朝立ち、ニュース配布、なんでも夜市、勝又政策発表会
- 8・9日 全国フェミニスト議員連盟夏合宿in松江(島根)
- 10日 勝又ひきまわし
- 11日 市総合計画審議会、JAさがみ会長訪問、医療問題懇談会
- 15日 韓国民団光復節式典、市慰霊祭、ニュース配布
- 17日 おひさま保育、勝又選対会議
- 18日 あべともこ出陣式、勝又出陣式、街頭・駅頭選挙応援、竹村藤沢市議と意見交換
- 19日 映画会案内配布、スタッフミーティング
- 20日 勝又駅頭、市総合計画審議会
- 21日 豊田市英語多読調査
- 22日 勝又選挙応援、湘南シニアクラブ、八王子原夏祭り、高田ニュータウン夏祭り
- 23日 防災訓練、盆おどり
- 25日 あべともこ選挙応援、市民相談
- 26日 あべともこ選挙応援
- 27日 勝又選挙応援
- 28日 勝又選挙応援
- 29日 勝又選挙応援
- 31日 つつじ学園訪問、小学校まわり(映画会案内)、舞台芸術総会



フェミ議連全国大会 松江



ウィークリー知事訪問片瀬海岸



【9月】

- 1日 おひさま保育、グループホーム視察、映画会案内各施設配布、勝又選挙報告会
- 2～4日 厚生常任委員会県外視察(群馬、神戸、京都、名古屋)
- 5日 いなほ保育園(補川市)・川崎市子ども夢パーク視察
- 7日 市民相談日
- 8日 おひさま保育、補正予算説明会
- 9日 九条の会チラシまき、地方分権大会、調査
- 10日 茅ヶ崎駅朝立ち、意見交換会
- 11日 I女性会議県への要望、県立芹香病院・精神福祉センター見学、福祉チャリティーコンサート
- 13日 紙芝居の会、平和講演会、自閉症の人震災学習会、あべともこ選挙報告会
- 14日 議会運営委員会、本会議、議案説明会
- 15日 おひさま保育
- 16日 茅ヶ崎駅朝立ち、議会運営委員会、本会議
- 17日 敬老大会、本会議
- 18日 県道44号線開通式
- 19日 スタッフミーティング、湘南シニアクラブ
- 20日 愛の輪フェスティバル、映画会、市民集会
- 22日 小出川彼岸花まつり
- 24日 おひさま保育、本会議
- 25日 議会運営委員会、本会議
- 26日 「こどもの時間」上映会と山田副園長との対談
- 28日 おひさま保育、県庁打ち合わせ、千葉景子事務所訪問、湘南教組の先生との話し合い
- 29日 厚生常任委員会、医療懇談会打ち合わせ
- 30日 厚生常任委員会、かながわパブリック法律事務所開設パーティ

恒例秋のバスツアーのお知らせ 横須賀軍港めぐりと秋の味覚

保健、医療、福祉の総合的人材を養成する新たな拠点づくりとしての県立保健福祉大学の見学。アメリカ海軍や海上自衛隊の様々な艦船を間近に観ながらの横須賀軍港めぐり。保健医療問題や今後の日米のあり方を考えてみたいと思います。最後にみかん狩りのお楽しみもあります。

皆さまのご参加をお待ちしています。



日時 2009年11月18日(水) 8:00 集合
 集合場所 茅ヶ崎市役所と茅ヶ崎市民文化会館の間の道
 行程 8:00 集合→8:30 出発→10:00 県立保健福祉大
 →昼食→13:00 軍港めぐり→15:00 みかん狩り→
 17:30 茅ヶ崎着

参加費 3500円(当日現金払い)

(昼食代、軍港めぐり料、みかん狩り料、保険料等)

定員 42名(事前申し込み制)

申し込み方法 くさか景子事務所

FAX・E-mail・TELでお申し込みください

TEL&FAX 0467-58-0290

E-mail future@grace.ocn.ne.jp

くさか景子後援会からのお知らせ

後援会費の振り込みは別紙振込用紙でお願いします。

□後援会費(年間) 1000円

□活動カンパ

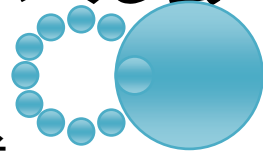
※ボランティアのできる方を募集しています。

(ニュース封筒詰め、配布等)



神奈川県議会議員 くさか景子と未来をつくる会

県政報告 Vol.11 2009年 10月



発行責任者 神奈川県議会議員 くさか景子
連絡先 くさか景子事務所

〒253-0043 茅ヶ崎市元町 3-17 村田ビル 202

Tel&Fax 0467 (58) 0290 e-mail future@grace.ocn.ne.jp

http://www3.ocn.ne.jp/~children/

くさか景子のハチドリのごとく

10月県議会報告

9月14日～10月7日

県財政非常事態宣言！今年度税収500億円減

今年度の県税収入は、企業業績の急激な落ち込みで、収入の柱の法人2税（法人県民税と法人事業税）に、地方消費税も減収の見通しで500億円減となりそうです。更に、来年度も200億円近い財源不足という厳しい状況の中、組織や事業を大幅に見直すとしています。弱者にしわ寄せがこないようしてほしい。

補正予算に287億円

今定例会には、287億1900万円の補正予算を組み、そのうち国の補正予算に対応した基金などは201億円を占めています。今回評価できるのは、離職者たちの次の就業支援のため、10万円以内を無利子無担保でつなぎ融資する貸付事業や住宅を失った離職者に住宅手当を支給する事業で、失業者の人たちに遅まきながらやっとできた支援です。

新型インフルエンザ対策の充実強化を国に意見書提出

この秋、感染が拡大する予想の新型インフルエンザに対して、ワクチンの接種が始まっていますが、県では、抗インフルエンザ薬タミフルやリレンザを備蓄するとともに、ワクチンの円滑な流通の確保な

どを役割としています。県議会では、国に、必要な医療従事者の確保をはじめとする対策や予算を十分に講じるよう強く要望しました。

観光立県目指す！観光振興条例制定

「観光立県かながわ」実現のため、この条例を制定するにあたり、担当室長を民間旅行社OBから起用し、民間感覚を取り入れ、観光事業者との連携を密に盛り込んであります。県内大学の観光学科の学生の人材育成や箱根、鎌倉、横浜など有名観光地だけでなく、地域の観光資源の掘り起こしや支援なども行う。観光を新たな産業と位置づけ、発展することは期待できます。



「弁護士法人かながわパブリック法律事務所」開設祝賀会で、千葉法務大臣と。

弁護士過疎・偏在解消等を目的に、横浜弁護士会、関東弁護士会連合会、日本弁護士連合会の支援のもと、公益的活動を担う「都市型公設事務所」として開設された。

くさか景子のほっとコラム

来年から、県議会の会期2倍の200日に！

神奈川県議会では、昨年の12月に、県議会の憲法ともいうべき「神奈川県議会基本条例」ができた。反問権もあるのが、今まで議員が質問する一方通行だったのが、委員会でも課長から議員に逆質問もあつたりして、少し前進か。今回は新たに、年4回だった県議会を3回にし、会期も100日だったのを200日の倍にし、委員会の同時開催をやめたり、一般質問を見直したりして議会運営の充実を行う。私は、県民の目線に立って議会改革を行っていくことには大賛成だが、残念なことは、議員全員での議論ができず、少数会派は蚊帳の外状態が続いていることだ。先進県の三重県では、議員全員の合意で、思い切った議会改革をすすめており、神奈川県は改革にはまだほど遠い。歩みは遅いが少しでも改革がすすんでいくことを期待するしかないか。。。



特集 女性閣僚に望む!

消費者・少子化・食品安全・男女共同参画担当相 福島 みずほ大臣へ

▼こども手当てと子育てインフラ整備の充実を

瑞穂さん大臣就任おめでとうござい
ます!よく電車で一緒におしゃべりな
がら帰りましたね。小柄だけど逞しい瑞
穂さん、頑張ってください。

こども手当てには多くの若いママさん
が期待しています。それと同時に、全国
的に待機児童が問題となっています。保
育所の整備や学童保育の充実によって、
女性が安心してこどもを働きながら育
てられる環境整備を行ってください。私
たちも、現役の親だけの問題ではなく、
新しい経済、産業を生み出す将来への投
資と考え、社会全体でこどもを育てると
いう意識改革が必要です。



女が差別なく共に働き、生きるここので
きる社会の仕組みづくりをしてくださ
い。

▼男女共同参画
と社会の確立を
大臣とみずほ
のがある職場、女性の
参画が少ない政治や
福島参画が少ない政治や
社会、性別役割分業
意識が残る家庭・男

法務相千葉景子大臣へ

▼女性の視点で民法改正の実現を

千葉さん大臣就任おめでとうございま
す!もう15年もお付き合いさせていた
だきいつもお会



千葉景子大臣事務所にて
笑顔で挨拶され
る知的で冷静な
千葉さん、頑張
ってください。

なんといっても
世界で日本だけ
という夫婦同姓
を、選択性夫婦別姓の実現で、結婚とい
う形態を多様なものにしてください。300
日問題も無戸籍のこどもを生み出し、問
題です。成人年齢の引き下げや結婚年
齢の見直しなどたくさん課題があり
ます。

また、女性差別撤廃条約選択議定書
の批准の実現。課題の多い裁判員制度の
見直しにも着手していただきたい。期待
しています。

死刑執行どうなるのでしょうか。

「死刑廃止議員連盟」には、千葉大臣
他、福島大臣、亀井静香大臣も入ってい
ます。人が人の死を決めることができる
のか、あるいは、何の罪もないのに人を殺
めたことを死をもつて償うことも当然と
いう意見も世論では強い。死刑論議はま
だまだ慎重な議論が必要です。

映画「こどもの時間」報告

映画会に参加して 9月26日

映画なのに薪が燃える香りがして、釜
の中のご飯の炊けるいいにおいが伝わつて
くる。

炭焼きのさんま、畑で採れた野菜スー
プ、肉じゃが。それらを手づかみでほお
べる赤いほっぺの小さな子。一番おいしい
食べ方のその上に愛情がたつぷり乗っかっ
て。暑くても寒くても、自然の中を自由
に元気に遊ぶ子どもたち。すべて満たさ
れた後のお昼寝。生きるって「食う、寝る、
遊ぶ」だと実感しました。最近、公園
等でも事故を心配して規制を多く設け
ていたりするが、ここでは事故の不安を
超えて、子どもたちの成長を暖かく見守
っているところがすばらしい。火や水はど
ういうものかを体験から学んでいる。だ
から大きい子になると火を使えるし、川
遊びも何が危ないか知っている。子ども
は体験から学んで行くことがよくわかっ
た。私も心配ばかりしてないで、子ども
に多くの体験をさせてあげようと思う。
(矢畑 永野 美代子)



映画会に100名の参加

いなほ保育園 見学記 9月5日

埼玉県桶川駅からタクシーで10分、
田んぼの中の小高い山を含めた約4千
坪の敷地。約百人の園児が裸足で園舎か
ら園庭を走り回り、山羊、ろば、馬、犬
など動物とも同居している。0歳から
6歳までの保育園では、大人とは違う
「こどもの時間」が流れている。特に決ま
ったカリキュラムはなく、自分で自分の遊
びを見つけていることが仕事。11時になると、
園長先生のピアノに合わせてクラス毎に
リズム運動や踊りが始まる。ピアノに合
わせてホールを走る、保育士の先生も思
いつきり走る。お昼ご飯は野菜中心で、
小さい子は手づかみでまさに自分で食う
という感じ・・・きれいに食べさせてくれ
るのではなく自分からほおぼる。

北原園長は、決して自由放任ではな
く、こどもたちの自立性を高め、生きる
力を育む場所であると強調された。与
えられるものではなく、自分で見つける
遊びは生きるということ危ない、だめは
言わない。こどもは大きな可能性を秘め
て生きている。

大人はそれを伸
ばしてやればいい
のだ。



いなほ保育園にて

神奈川県議会は本会議と委員会(8つの常任委員会と4つの特別委員会)で構成されており、くさか景子は厚生常任委員会に所属しています。

厚生常任委員会 9月30日

くさか景子質問 抜粋

県立病院独法化 中期目標 問題点は?

来年4月から、県立病院は直営から法人化されます。国の「公立病院改革ガイドライン」により、経営形態を見直し、経営の効率化を目指すというものです。しかし、公立病院に、小児科や産科、救急医療、災害時医療などを含めた不採算の部門を担ってもらい以上、採算性や効率化を求めるのは無理があります。

全国的に、医師、看護師不足が顕著です。県でも、がんセンターを拡張し、精神医療センターを改築するため、優秀な医師を確保したいと言っていますが、医師確保のためには有効な方策を練らねばならず、また、看護師の配置で、7対1看護ができていないのは、こども医療センターと足柄上病院だけです。しかし、夜勤が多いのでまだ看護師不足は顕著です。来年4月から病院内保育所が24時間になるので、少しは看護師不足解消になるのでしょうか。

次の問題点は、負担金です。現在は、純損益は黒字ですが一般会計から148億円繰り出しています。法人化された他の病院では、負担金も減らされていま

す。今後、医療の質を落とさないためには負担金の十分な確保が必要です。

精神医療センター 芹香病院の改築で、精神医療のソフト面はどうなる?

先日、芹香病院を視察しました。老朽化が激しく耐震も危ういので、隣のせりがや病院と合体し改築されるということとです。昔から精神医療は薬つけというイメージでしたが、芹香病院には、なんと頭に電気を通すと「すかつと」治るうつ病治療の最先端医療機器があり研究中でした。同時に、鍼灸法でも、うつ病治療を行っていました。一日も早く認可をとり、すすめていただきたいと要望しました。



閑散としている精神保健福祉センター

同時に視察した芹香病院の隣にある精神保険福祉センターは、自殺対策の中心拠点にはなっていないものの、会議室、医療施設はほとんど使われておらず、鍵のかかった図書館は古い書簡が並んでいました。横浜や川崎に機能が移管されてセンターの機能が大幅に縮小されています。無駄なセンターを見直し、県民に有効に使用すべきだと意見しました。

県議会 女性政策進まず!

私は、女性差別撤廃条約選択議定書の批准を国に求める意見書を提出しましたが、少数否決となってしまいました。条約制定から30年、条約は批准しているが、条約をさらに進める付属の条約、選択議定書を批准していないのは日本と米国だけです。国連の委員会が日本の男女共同参画の遅れを厳しく指摘していますが、国ではすすんでいません。県議会としても、女性議員を中心に呼びかけましたが、男性議員には真意が伝わっていませんでした。男女共同参画推進の道は遠い!?



傍聴記

厚生常任委員会の各議員の質問が、今回は、医療問題に集中していた。はじめに聞く、新型インフルエンザの問題や対策についての質問や議論に緊張感があつた。「精神医療保険福祉センター」をより有効に活用できないかとの目下議員の質問に対して、県の職員からは、「現在、電話対応や自殺防止対策センターとしても活用しているこの回答。私自身もセンターの視察に同行させてもらったが、使用されているのは施設内のごく一部。とてもきれいで広い部屋やスペースが、人もなく、がらんとしていた。県の施設として、今後より有効な用途を考えてほしいと思った。

議員インタビュー 杉森 紗由美

視察報告

愛知県長久手町

「介助犬総合訓練センター」9月4日

皆さん、介助犬(サービーストック)を知っていますか? 県厚生常任委員会では、介助犬センター「シンシアの丘」を訪問しました。介助犬とは、肢体不自由者の日常生活動作を助けるため訓練された犬のことです。全国で肢体不自由者は約175万人、そのうち介助犬を必要とする人は1万5千人といわれていますが、実働数は盲導犬1045頭、聴導犬20頭、介助犬は49頭しかいません。盲導犬の認知度は高いのですが、介助犬は、まだ絶対数が不足している上、訓練を受けても介助犬になれる犬はわずかです。



シンシアの丘は、全国で初めての介助犬専門訓練施設で、家庭的でくつろげる訓練所になっています。私たちの社会は、介助犬の認知度は低く、正しい理解が得られず、街で見かけても、店舗でもまだ眉をひそめられてしまっています。

今後は、介助犬のますますの発展、障がい者の自立や幸せ、動物にも人にも優しい社会が実現することを望みます。



介助犬センターでの訓練

今後は、介助犬のますますの発展、障がい者の自立や幸せ、動物にも人にも優しい社会が実現することを望みます。

